

日本基督教団伝道推進基本方針

「イエスは、近寄って来て言われた。『わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。』」

(マタイによる福音書 28 章 18～20 節)

1 祈祷運動 共に祈ろう

主の伝道命令に従い、500 年を経た宗教改革の信仰を受け継ぎ、罪の悔い改めと救いの感謝の祈りをささげるために、「日本伝道の推進を祈る日」(毎月第3主日)を設けて共に祈りを合わせる。

2 信徒運動 共に伝えよう

礼拝において聖霊の力を受け、聖書を読み、熱心に祈り、喜びをもって主の恵みを証しし、キリストの十字架による罪のゆるしの福音を宣べ伝える信徒として共に成長することを目指す。

3 献金運動 共に献げよう

日本の各地にあって、日夜伝道のために苦闘している教会・伝道所を具体的に覚えて祈り、その働きを支えるために共に献げることによって、信徒および教師における献身の志が高められ、献身者を生み出す教会となるように献金運動を展開する。

各地の教会を覚えて

祈りと献金の呼びかけを始めたきっかけには、全国の教会・伝道所における教勢の低下と、それに伴う財政危機という課題がありました。残念ながら、その状況は現在も変わっていません。

この呼びかけが目指しているのは、全国の教会・伝道所が、その立っている地域の伝道の拠点であり続けるために、互いに祈り合い、支え合うことです。そうして教団全体の伝道のネットワークを保ち、広げてゆくことを願っています。

この連載によって、各地に立てられている教会・伝道所および各教区の活動を覚えて祈り合いましょ。そして、「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい」(マタイ 28・19)とのみ言葉に従って、伝道の働きを共に担っていきましょう。Ω

「日本基督教団全国伝道推進献金」
振替口座 00140-7-293436



「日本伝道の推進を祈る日」
4巡目が始まります

伝道のネットワークを保ち、広げて



雲然俊美

くもしかり としみ
日本基督教団総会議長

第1巡、第2巡期間の献金を、各教会・伝道所への指定献金は各教会・伝道所へ、それ以外は各教区に配分しました。第3巡期間の献金先については、検討中です。

全国伝道推進献金の収入 (円)

	第1巡 (2020年6月25日締め)	第2巡 (2021年12月31日締め)	第3巡 (2023年2月28日締め)
全国から	2,580,590	3,609,208	2,504,925
米国長老教会から	2,024,324	0	0
合計	4,604,914	3,609,208	2,504,925

「共に祈るために」4巡目

日本基督教団は第40総会期において、教団伝道推進基本方針を制定しました(2017年制定、2019年改訂)。その具体的な展開として、毎月第3日曜日に、日本伝道の推進のために共に祈りを合わせましょと、教団の全教会・伝道所に呼びかけています。

その取り組みの一つとして、本誌2019年11月号より「共に祈るために」とのタイトルで、各教会・伝道所や各教区の活動などを紹介し、各地の教会・伝道所や教区の活動を覚えていきます。

あわせて、全国伝道推進献金を呼びかけ、指定がなされた教会・伝道所や教区などにお届けしています。

昨年9月末から始まった第42総会期においても、これらの祈りと献金の呼びかけを継続することが決まりました。本誌来月号より早速、各教区の教会・伝道所や、教区の活動を紹介する連載が再開します。この試みは今回で4巡目です。